

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	体育Ⅱ
科目基礎情報						
科目番号	0030		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	「Active Sports 総合版」大修館書店					
担当教員	大橋 千里,岩脇 聡,林 直人					
到達目標						
(1) 体力の変化・向上を感じることができる。 (2) 効率良くかつ安全な動きが習得できる。 (3) 技能向上のために自ら行動し、問題を解決することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	準備・活動の場面において、自己および仲間のとるべき行動を判断し、適切に働きかけながら、主体的に活動できる。		準備・活動の場面において、自己のとるべき行動を判断し、仲間と協力しながら活動できる。		準備・活動の場面において、自己のとるべき行動を判断できない。仲間との協力や活動への自主的な参加ができない。	
評価項目2	自己の能力を理解し、適切な運動技能、運動強度を判断し、応用的技能の習得や体力向上をはかることができる。		教員が指示した運動課題に従い、運動の基本技術や体力を身につけることができる。		教員の指示に従わず、運動の基本技術や体力を身につけることができない。	
評価項目3	自己や周囲の安全に留意しながら活動し、必要に応じて危険を回避する行動や、周囲への声かけができる。		自己の安全に留意しながら活動し、必要に応じて危険を回避する行動を取ることができる。		安全に留意しながら活動することができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	(1) 基礎体力を向上させるとともに、自己の体調の変化に気づいたり調整できる自己管理能力を養う。 (2) 仲間とともに協調し達成することや気づき合い、配慮できる態度を養う。					
授業の進め方・方法	前期は岩脇（柔道）、林・大橋（フィットネス・バドミントン・ダンス）が授業を担当する。後期は林・大橋が授業を担当する。前期は柔道とバドミントンから1つを選択して授業を行う。後期はダンスとフィットネスを中心に授業を行う。					
注意点	授業改善策）安全に対する態度を促す。 ※評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、評価の基準を満たし単位の修得が認められた者にあたっては、その評価を60点とする。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス 体力診断テスト①		体育Ⅱの授業目標と内容を理解する。新体力テストの測定をし、自らの体力レベルを知る。	
		2週	体力診断テスト②		正しい測定方法を理解する。新体力テストの測定をし、自らの体力レベルを知る。	
		3週	柔道①		基本動作（礼法、姿勢）を理解することができる。	
		4週	柔道②		対人的技能（組み方、進退動作、崩し、受身）を理解し、実践することができる。	
		5週	柔道③		対人的技能（崩し、体さばき、掛け）を理解しし、かかり練習を行うことができる。	
		6週	柔道④		対人的技能（支え系、払い系、刈り系）を理解し、約束練習をできる。	
		7週	柔道⑤		乱取り練習により、より高い技術を身に付けるとともに、試合ができる。	
		8週	柔道⑥		実技試験の実施。	
	2ndQ	9週	バドミントン①		ドライブ、ヘアピン、クリアーを理解し、打つことができる。	
		10週	バドミントン②		ドライブ、ヘアピン、クリアー、ドロップ、スマッシュ、サーブを理解し、打つことができる。	
		11週	バドミントン③		シングルスゲームのルールを知り、通常の半コートでのシングルスゲームが実施できる。	
		12週	バドミントン④		シングルスゲームを実施し、ゲームの記録ができる。	
		13週	バドミントン⑤		ダブルスゲームのルールを知り、ダブルスゲームができる。	
		14週	バドミントン⑥		実技試験をし、ダブルスゲームができる。	
		15週	授業評価		授業の総括、および授業評価アンケートの実施。	
		16週				
後期	3rdQ	1週	体力診断テスト①		正しい測定方法を理解する。新体力テストの測定をし、自らの体力レベルを知る。	
		2週	体力診断テスト②		正しい測定方法を理解する。新体力テストの測定をし、自らの体力レベルを知る。	
		3週	体操&トレーニング①		ラジオ体操の正しい動きを学び、実践することができる。	
		4週	体操&トレーニング②		より美しくラジオ体操を実演することができる。	
		5週	体操&トレーニング③		ラジオ体操の試験の実施。	

		6週	体操&トレーニング④	器械運動（マット運動）の種目について学び、実践することができる。
		7週	体操&トレーニング⑤	より美しく器械運動を実演することができるようになる。
		8週	体操&トレーニング⑥	器械運動（マット運動）の試験の実施。
	4thQ	9週	ダンス①	3人以上10人以下のダンスのグループを決め、ダンス作品の曲を決める。
		10週	ダンス②	ダンス作品の曲に合わせて振付を考え、実践してみる。
		11週	ダンス③	ダンス作品の振り付けを完成させ、作品の全体構成を考える。
		12週	ダンス④	より高いパフォーマンスを目指して練習を行う。
		13週	ダンス⑤	ダンス作品の発表会に向けて、衣装や演出を工夫し、リハーサルを行う。
		14週	ダンス⑥	ダンス作品の発表会。
		15週	授業評価	授業の総括、および授業評価アンケートの実施。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	10	0	30	100
基礎的能力	20	0	0	0	0	30	50
専門的能力	40	0	0	0	0	0	40
分野横断的能力	0	0	0	10	0	0	10